

2022年12月9日

関係各位

公益財団法人日本国際フォーラム
理事長 渡辺 まゆ



この度、日本国際フォーラム（JFIR）は、上海外国語大学日本研究センターとの共催にて、12月22日（木）に、日中対話「日中50年の関係から読み解く次の50年」を下記要領にてオンライン開催することになりましたので、下記のとおりご出席をご案内申し上げます。

2022年は、日中国交正常化50周年という記念の年ですが、両国の間には依然として対立や様々な課題が存在しています。しかしながら過去50年の日中関係を回顧すると、90年代の蜜月時代をはじめ、安倍晋三首相により「競争から協調へ」と言及された2018年以降の一時期にみられたように、対立を超えて新たな段階に押し上げようとする努力がなされてきました。両国が50年間こうした関係を続けてこられたのは、双方の間で共有しうる価値、利益、国際情勢認識などがあったためであり、この50周年の節目の時に、改めてそれが何であったのかを探り、また次の50年を形成しうる価値、利益、認識は何なのか、またそれが無いのであればどのように創出できるのか、を探る必要があるといえます。

そのような問題意識のもと、本対話では、中国側から廉徳瑰・上海外国語大学日本研究センター主任、楊伯江・中国社会科学院日本研究所所長、胡令遠・復旦大学日本研究センター主任、蔡亮・上海市日本学会秘書長、田慶立・天津外国語大学地域研究院院長、張玉来・南開大学日本研究院副院長、包霞琴・復旦大学教授、陳友駿・上海国際問題研究院研究員、日本側から加茂具樹・日本国際フォーラム上席研究員/慶應義塾大学総合政策学部長・教授、服部龍二・中央大学総合政策学部教授、高橋哲史・日本経済新聞社編集政策報道ユニット経済部長、岡寄久実子・キャノングローバル戦略研究所研究主幹、伊藤信悟・国際経済研究所主席研究員（プログラム登場順）などをパネリストにお招きし、「日中関係を促進してきたファクターの変化と展望」および「次の日中関係50年を支える共通の価値、利益は何か」の2つのセッションにて議論を行います。当日は日本語・中国語の同時通訳が入ります。

記

1. 日 時：2022年12月22日（木）15時30分から18時30分まで（Zoom開室は15時25分から）

2. 共 催：日本国際フォーラム、上海外国語大学日本研究センター

3. 開催形式：オンライン形式（Zoomウェビナー）

「Zoomウェビナー」とは、各自のパソコンやスマートフォンから簡単にご参加いただけるオンライン会議システムです。会合までにメールにて、Zoom参加URL、パスワード等の詳細を送信いたします。

4. 使用言語：日中同時通訳

5. プログラム：

オープニングセッション（15時30分～15時50分）

開会挨拶：渡辺 まゆ 日本国際フォーラム理事長

廉 徳瑰 上海外国語大学日本研究センター主任

セッション1「日中関係を促進してきたファクターの変化と展望」（15時50分～17時）

議 長：加茂 具樹 日本国際フォーラム上席研究員/慶應義塾大学総合政策学部長・教授

報告A：服部 龍二 中央大学総合政策学部教授

報告B：楊 伯江 中国社会科学院日本研究所所長・研究員

報告C：高橋 哲史 日本経済新聞社編集政策報道ユニット経済部長

報告D：胡 令遠 復旦大学日本研究センター主任・教授

報告E：岡嵯久実子 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹

報告F：包 霞琴 復旦大学教授

自由討議

休憩（17時～17時10分）

セッション2「次の日中関係50年を支える共通の価値、利益は何か」（17時10分～18時20分）

議 長：蔡 亮 上海市日本学会秘書長/研究員

報告A：田 慶立 天津外国語大学地域研究院院長教授

報告B：調整中

報告C：張 玉来 南開大学日本研究院副院長・教授

報告D：加茂 具樹 日本国際フォーラム上席研究員/慶應義塾大学教授

報告E：陳 友駿 上海国際問題研究院研究員

報告F：伊藤 信悟 国際経済研究所主席研究員

自由討議

総括セッション（18時20分～18時30分）

総括A：廉 徳瑰 上海外国語大学日本研究センター主任

総括B：加茂 具樹 日本国際フォーラム上席研究員/慶應義塾大学教授

6. 参加費：無料 ※定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込ください。

7. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

参加ご希望の方はこちらからお申込みください

<本対話に関する連絡先>

日本国際フォーラム事務局（港区赤坂 2-17-12-1301 [TEL:03-3584-2190](tel:03-3584-2190))
